

1. $\mathbf{u} \in \mathbb{R}^m$, $\mathbf{v} \in \mathbb{R}^n$ (ともに縦ベクトル) と n 行 m 列の行列 A に対し, $(A\mathbf{u}) \cdot \mathbf{v} = \mathbf{u} \cdot ({}^t A\mathbf{v})$ を示せ. ただし ${}^t A$ は A を転置して得られる m 行 n 列の行列である.

以下, 今までの復習と補足です

2. $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}$ を C^∞ 級関数とし, $S := f^{-1}(0)$ とする. S 上 $\text{grad}(f) \neq \mathbf{0}$ のとき, S は向きづけ可能な曲面であることを示せ. また, S の向き $\mathbf{n}: S \rightarrow \mathbb{R}^3$ を一つ求めよ.
3. $S := \{(x, y, z) \in \mathbb{R}^3 \mid x^2 + (y/2)^2 + (z/3)^2 = 1\}$ とおく.
- (1) S は向きづけ可能な曲面であることを示し, S の概形を図示せよ.
 - (2) 各 $p \in S$ に対し, $T_p S$ ならびに $T_p^\perp S$ を表す方程式を求めよ. また $T_p S$ を平行移動して, 実際に p において S に接する平面の方程式を求めよ.
 - (3) S の向き $\mathbf{n}: S \rightarrow \mathbb{R}^3$ で, $\mathbf{n}(1, 0, 0) = (1, 0, 0)$ をみたすものを求めよ.
 - (4) ベクトル場 $\mathbf{V}(x, y, z) := (x^3 + xyz - xy^2, y - y^2z + y^3, (yz^2/2) - 3zx^2 - y^2z)$ に対し, $\int_S \mathbf{V} \cdot d\mathbf{S}$ を計算せよ. ただし S の向きは (3) のものとする.
 - (5) ベクトル場 $\mathbf{W} := \frac{(x, y-1, z)}{(x^2 + (y-1)^2 + z^2)^{3/2}}$ に対し, $\int_S \mathbf{W} \cdot d\mathbf{S}$ を計算せよ. ただし S の向きは (3) のものとする.
4. $f(x, y, z) := x^2 + (y-1)^2 - (z+2)^2 - 3$ とおく.
- (1) $S := f^{-1}(0)$ は曲面であることを示し, S の概形を図示せよ.
 - (2) $p = (a, b, c) \in S$ とする. $T_p S$ ならびに $T_p^\perp S$ を表す方程式を求めよ.
 - (3) $S' := S \cap \{-3 \leq z \leq -1\}$ とおく. S' は境界つき曲面であることを示せ.
 - (4) S は向きづけ可能であることを示せ. S の向きを適当に選んで, ベクトル場 $\mathbf{V}(x, y, z) := (1-y, x, z)$ に対し, $\int_{S'} \text{rot} \mathbf{V} \cdot d\mathbf{S}$ を計算せよ. また $\mathbf{W}(x, y, z) := ((1-y)(z+2), x \sin(\frac{\pi z}{2}), z^2)$ に対し, $\int_{S'} \text{rot} \mathbf{W} \cdot d\mathbf{S}$ を計算せよ.
5. $\Omega := \mathbb{R}^3 \setminus \{(0, 0, z) \in \mathbb{R}^3\}$ とおき, Ω 上のベクトル場 $\mathbf{V}(x, y, z) := \frac{(-y, x, 0)}{x^2 + y^2}$ を考える.
- (1) $\text{rot} \mathbf{V}$ を計算せよ.
 - (2) $\mathbf{l}: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}^3$, $\mathbf{l}(t) := (\cos t, \sin t, 0)$ でパラメータづけされる閉曲線に対し, $\int_{\mathbf{l}} \mathbf{V} \cdot d\mathbf{l}$ を計算せよ.
 - (3) Ω は単連結ではないことを示せ.
6. (S, \mathbf{n}) を向きづけられた境界つき曲面とし, $p \in \partial S$ の近くの局所座標 $\varphi: W \rightarrow \mathbb{R}^3$ を取る. ただし $W \subset \mathbb{R}^2$ は開集合で, $W \cap \mathbb{H}^2 = U$ とおくと $p \in \varphi(U) \subset S$ である. φ が向きを保つとき, p を通る曲線 $\mathbf{l}: (-\epsilon, \epsilon) \rightarrow S$, $\mathbf{l}(s) := \varphi(s - s_0, 0)$ は ∂S の向きを表すことを示せ. ただし $p = \varphi(s_0, 0)$.
7. 問題 3 の曲面 S に対し, $S_\pm := \{(x, y, z) \in S \mid \pm z > 0\}$ (複合同順) とおく.
- (1) $U := \{(s, t) \in \mathbb{R}^2 \mid s^2 + (t/2)^2 < 1\}$ とおき, $\varphi_+: U \rightarrow \mathbb{R}^3$ を $\varphi(s, t) := (s, t, 3\sqrt{1 - s^2 - (t/2)^2})$ で定める. S_+ の任意の点 $p \in S_+$ に対し, φ_+ は p の近くの局所座標で, 向きを保つことを示せ. ただし S_+ の向きは問題 3. (3) のもの (の S_+ への制限) とする.
 - (2) S_- の任意の点 $p \in S_-$ に対し, p の近くの局所座標 $\varphi_-: U \rightarrow S_-$ で, 向きを保つものを一つ求めよ.
 - (3) $q_- := (0, 0, -3) \in S$ とする. $(s, t) \in U$ に対し, q_- と $(s, t, 0) \in \mathbb{R}^3$ を結ぶ直線を考え, この直線と S_+ の交点を $\varphi'_+(s, t)$ とおく. $\varphi'_+: U \rightarrow \mathbb{R}^3$ も任意の $p \in S_+$ の近くの局所座標で, 向きを保つことを示せ.
 - (4) S_+ の二つの局所座標 φ_+ , φ'_+ の間の座標変換 $\psi: U \rightarrow U$ を求めよ. 各 $\mathbf{a} \in U$ に対し, $\det D\psi(\mathbf{a})$ の正負を調べよ.

(提出の必要はありません)

幾何入門 レポート問題 14 (2014 年 7 月 25 日)

担当: 境 圭一

$\Omega := \{(x, y, z) \in \mathbb{R}^3 \mid x^2 + y^2 \geq 1\}$ は単連結でないことを示せ.

(7/31 (木) 17:00 までに提出してください)

http://math.shinshu-u.ac.jp/~ksakai/14_geometry/14_geometry.html